

大津市 認知症に関する市民意識調査 報告書

令和8年4月

大 津 市

目次

I 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象.....	1
3 調査期間.....	1
4 調査方法.....	1
5 回収状況.....	1
6 調査結果の表示方法.....	1
II 調査結果.....	2
1. 問1 あなたの性別を教えてください。.....	2
2. 問2 あなたの年代を教えてください。(令和7年11月1日時点).....	2
3. 問3 あなたは現在仕事をしていますか。(勤務日数・時間・雇用形態は問いません).....	2
4. 問4 あなたは認知症との診断を受けたことがありますか。.....	3
5. 問5 現在、あなたの周りに認知症と診断を受けた方はいらっしゃいますか。.....	4
6. 問6 「認知症」と聞いてどのようなことが思い浮かびますか。.....	5
7. 問7 認知症のイメージについて当てはまるものをそれぞれ選んでください。.....	7
8. 問7-1 認知症になると、症状が進行していき、何もできなくなってしまう。.....	7
9. 問7-2 周りの人の関わり方で、症状の進行を遅らせることもあれば悪化させることもある。.....	8
10. 問7-3 認知症になっても工夫をすれば、今まで暮らしてきた地域で自立して生活できる。.....	9
11. 問7-4 認知症になっても、医療や介護などの支援を利用すれば、今まで暮らしてきた地域で生活できる。.....	10
12. 問7-5 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる。.....	11
13. 問7-6 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設等に入って支援を受けることが必要になる。.....	12
14. 問7-7 認知症と診断されても、周囲の人に知られたくないと思っている人が多い。.....	13
15. 問8 あなたは「新しい認知症観」について知っていますか。.....	14
16. 問9 あなたは「MCI：軽度認知障害」について知っていますか。.....	15
17. 問10 「若年性認知症」について知っていることはどんなことですか。.....	16
18. 問11 あなたは認知症になった場合、認知症であることを周囲に伝えたいと思いますか。.....	17

I 調査の概要

1 調査の目的

共生社会の実現を推進するための認知症基本法に基づく（仮称）大津市認知症施策推進計画（計画期間は令和9年度から令和11年度まで。以下「計画」という。）策定に当たっては、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、市民から認知症に関する幅広い意見を収集し、認知症施策を総合的かつ計画的に推進するための長期的な展望に立った方針や、課題及び施策を盛り込んでいく必要がある。

これらの作業を行っていくにあたり、市民の認知症に関する認識や考え方等を把握することを目的に以下のとおり業務を委託するものである。

2 調査対象

満18歳以上65歳未満の市民3,000人（無作為抽出）

3 調査期間

令和8年1月29日（木）～令和8年3月6日（金）

4 調査方法

対象者にはがきを送付しインターネット回答

5 回収状況

発送数	回答数	回収率
3,000件	1,056件	35.2%

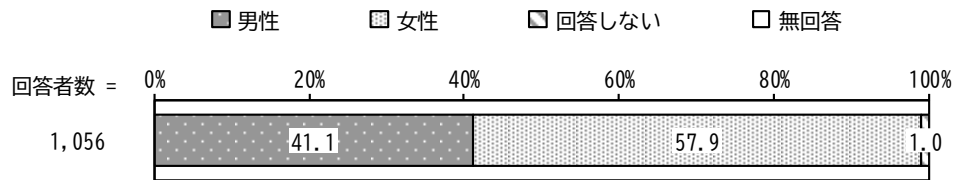
6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果

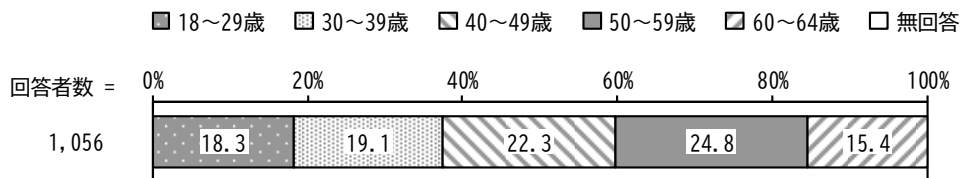
問1 あなたの性別を教えてください。

「男性」の割合が41.1%、「女性」の割合が57.9%となっています。



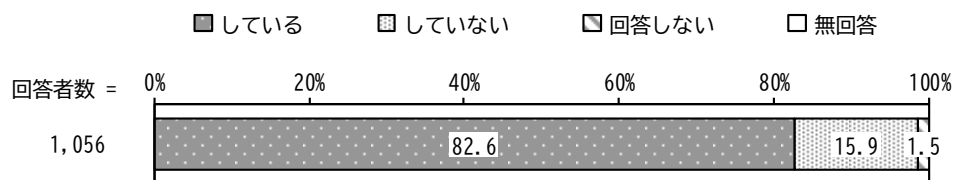
問2 あなたの年代を教えてください。(令和7年11月1日時点)

「50～59歳」の割合が24.8%と最も高く、次いで「40～49歳」の割合が22.3%、「30～39歳」の割合が19.1%となっています。



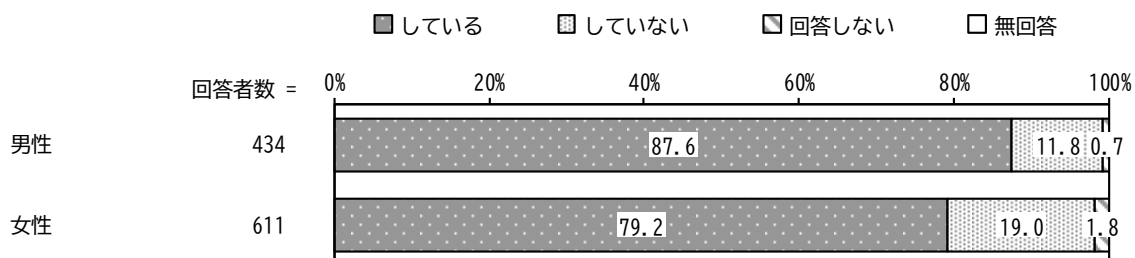
問3 あなたは現在仕事をしていますか。(勤務日数・時間・雇用形態は問いません)

「している」の割合が82.6%、「していない」の割合が15.9%となっています。



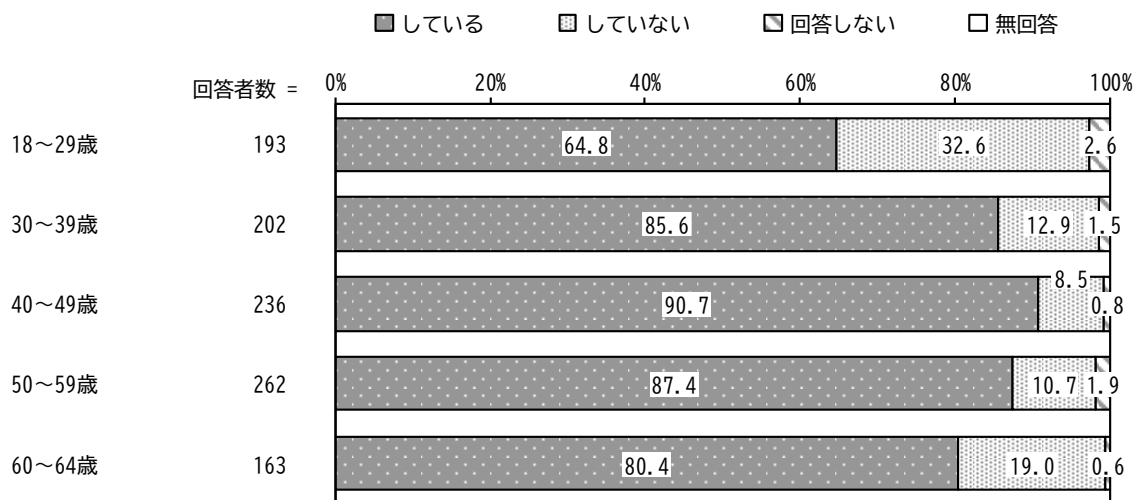
【性別】

性別にみると、男性で「している」の割合が高くなっています。



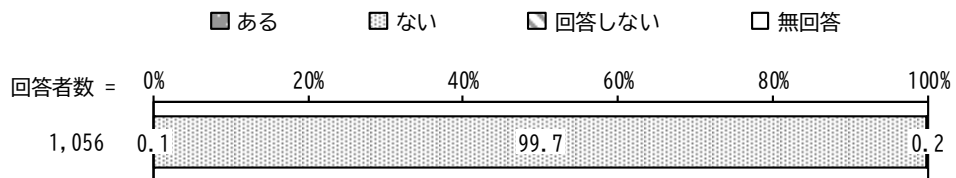
【年齢別】

年齢別にみると、18～29歳で「していない」の割合が高くなっています。



問4 あなたは認知症との診断を受けたことがありますか。

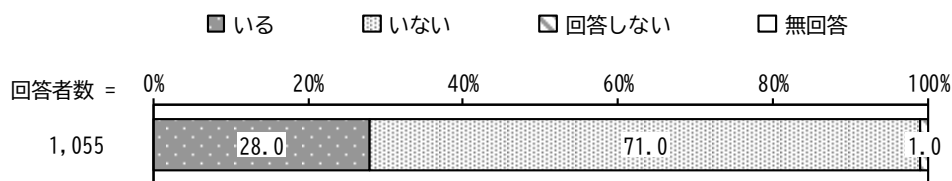
「ある」との回答が1件の割合が0.1%、「ない」との回答が1,053件の割合が99.7%、「回答しない」との回答が2件の割合が0.2%となっています。



問4で「ない」もしくは「回答しない」と回答された方のみお答えください。

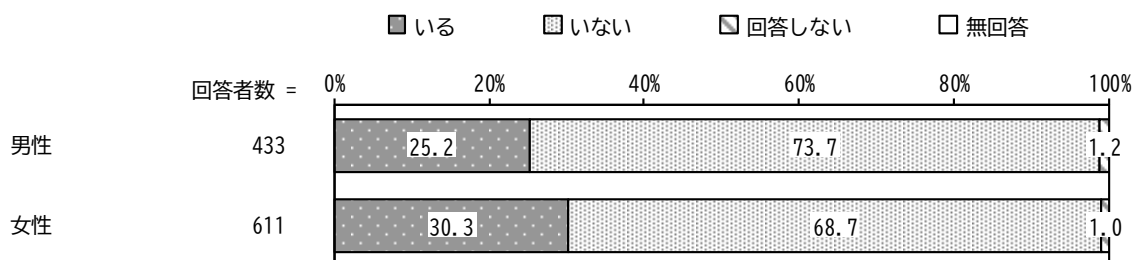
問5 現在、あなたの周りに認知症と診断を受けた方はいらっしゃいますか。

「いる」の割合が28.0%、「いない」の割合が71.0%となっています。



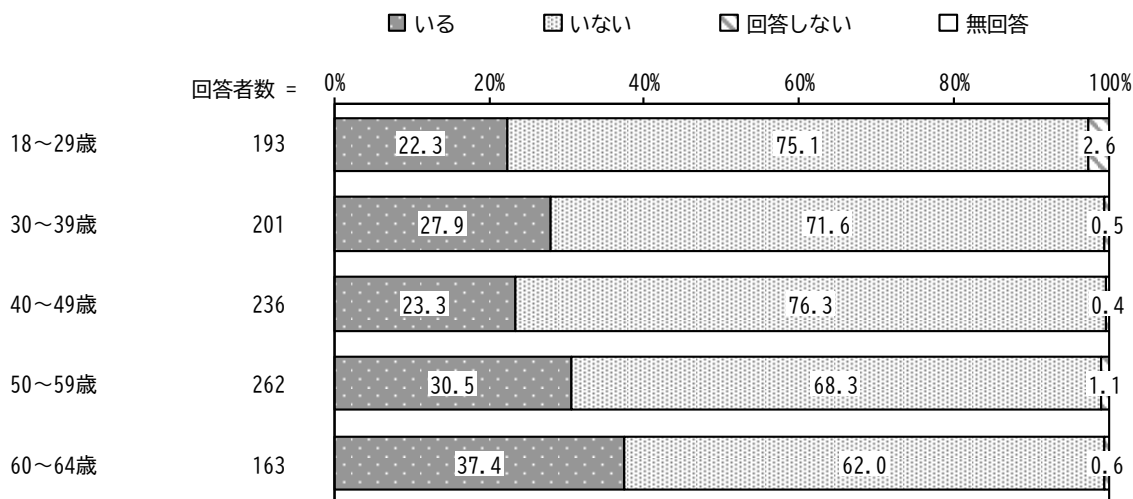
【性別】

性別にみると、女性で「いる」の割合が高くなっています。



【年齢別】

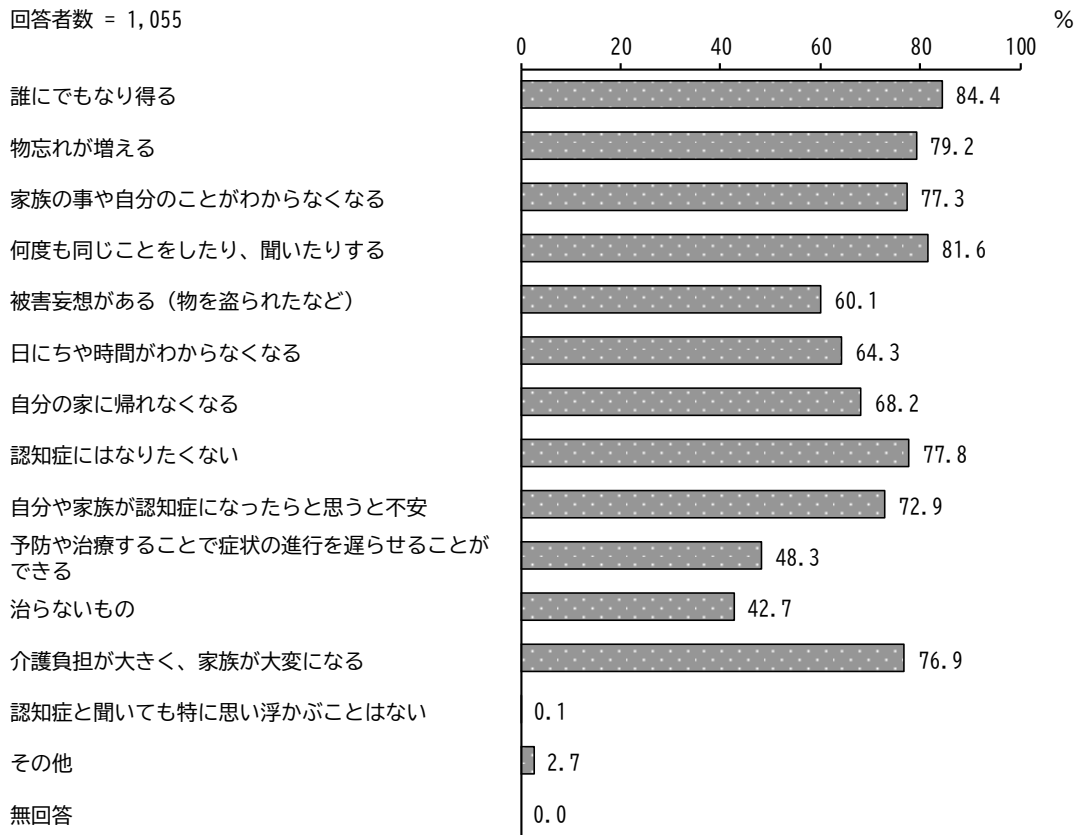
年齢別にみると、以下のとおりです。



問6 「認知症」と聞いてどのようなことが思い浮かびますか。(複数回答可)

「誰にでもなり得る」の割合が 84.4%と最も高く、次いで「何度も同じことをしたり、聞いたりする」の割合が 81.6%、「物忘れが増える」の割合が 79.2%となっています。

回答者数 = 1,055



【性別】

性別にみると、男性、女性とも「誰にでもなり得る」、「物忘れが増える」、「何度も同じことをしたり、聞いたりする」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	誰にでもなり得る	物忘れが増える	家族の事や自分のことがわからなくなる	何度も同じことをしたり、聞いたりする	被害妄想がある(物を盗られたなど)	日にちや時間がわからなくなる	自分の家に帰れなくなる
全体	1,055	84.4	79.2	77.3	81.6	60.1	64.3	68.2
男性	433	84.3	78.5	76.9	77.4	48.5	58.9	64.2
女性	611	84.5	80.0	77.9	84.6	68.4	68.4	71.4

区分	認知症にはなりたくない	自分や家族が認知症になったらと思うと不安	予防や治療することで症状の進行を遅らせることができる	治らないもの	介護負担が大きく、家族が大変になる	認知症と聞いても特に思い浮かぶことはない	その他	無回答
全体	77.8	72.9	48.3	42.7	76.9	0.1	2.7	0.0
男性	76.7	69.5	42.7	42.3	73.9	0.0	2.1	0.0
女性	79.1	75.3	52.4	42.9	79.1	0.2	3.1	0.0

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「予防や治療することで症状の進行を遅らせることができる」の割合が高く、「何度も同じことをしたり、聞いたりする」、「自分の家に帰れなくなる」、「認知症にはなりたくない」、「介護負担が大きく、家族が大変になる」は40～49歳が最も高くなった。

単位：％

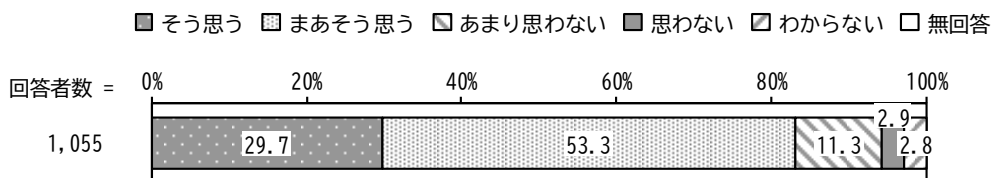
区分	回答者数(件)	誰にでもなり得る	物忘れが増える	家族の事や自分のことがわからなくなる	何度も同じことをしたり、聞いたりする	被害妄想がある(物を盗られたなど)	日にちや時間がわからなくなる	自分の家に帰れなくなる
全体	1,055	84.4	79.2	77.3	81.6	60.1	64.3	68.2
18～29歳	193	70.5	80.8	76.2	79.8	44.0	51.3	65.3
30～39歳	201	89.6	84.1	86.6	83.1	65.7	66.7	71.6
40～49歳	236	84.7	81.8	84.7	86.4	64.4	66.1	75.8
50～59歳	262	87.8	74.0	69.1	79.4	64.1	65.3	63.7
60～64歳	163	88.3	76.1	69.9	78.5	59.5	72.4	63.2

区分	認知症にはなりたくない	自分や家族が認知症になったらと思うと不安	予防や治療することで症状の進行を遅らせることができる	治らないもの	介護負担が大きく、家族が大変になる	認知症と聞いても特に思い浮かぶことはない	その他	無回答
全体	77.8	72.9	48.3	42.7	76.9	0.1	2.7	0.0
18～29歳	65.8	69.4	26.9	42.0	68.4	0.5	2.6	0.0
30～39歳	79.6	82.6	46.3	48.8	79.1	0.0	2.5	0.0
40～49歳	83.1	76.7	48.3	42.4	82.2	0.0	2.5	0.0
50～59歳	79.4	69.5	57.6	39.7	78.6	0.0	2.3	0.0
60～64歳	79.8	65.0	61.3	41.7	73.6	0.0	3.7	0.0

問7 認知症のイメージについて当てはまるものをそれぞれ選んでください。

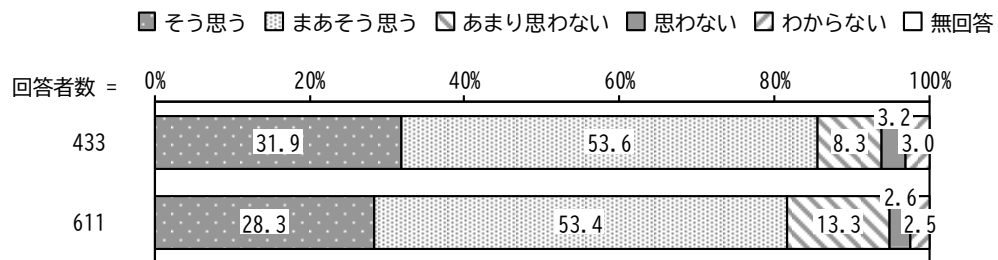
問7-1 認知症になると、症状が進行していき、何もできなくなってしまいます。

「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“思う”の割合が83.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合が14.2%となっています。



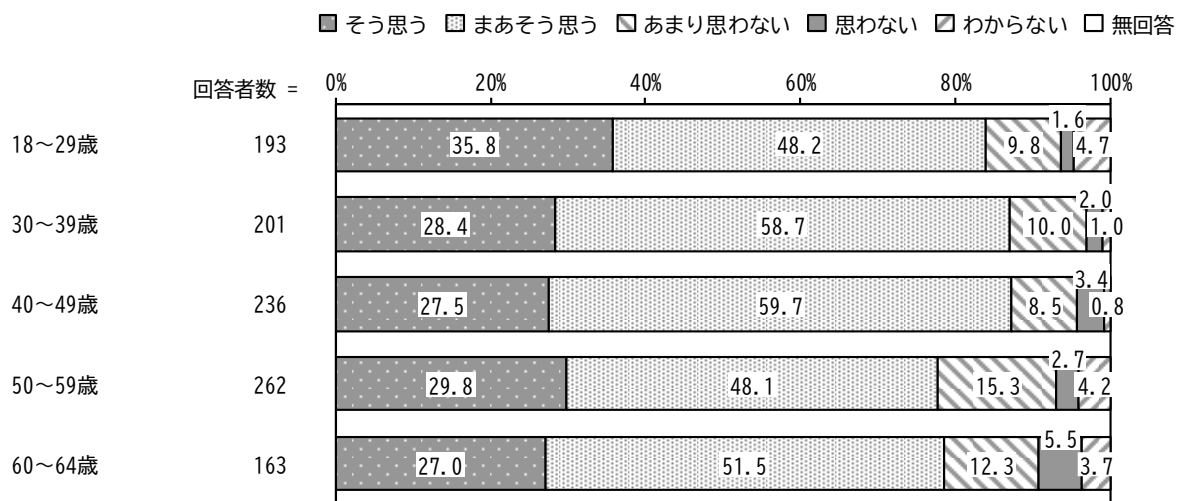
【性別】

性別にみると、女性で「あまり思わない」の割合が高くなっています。



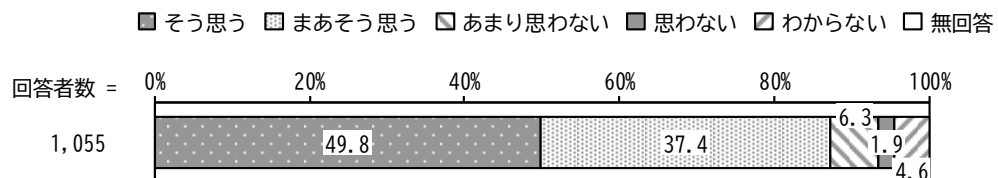
【年齢別】

年齢別にみると、50～59歳で“思う”の割合が低くなっています。



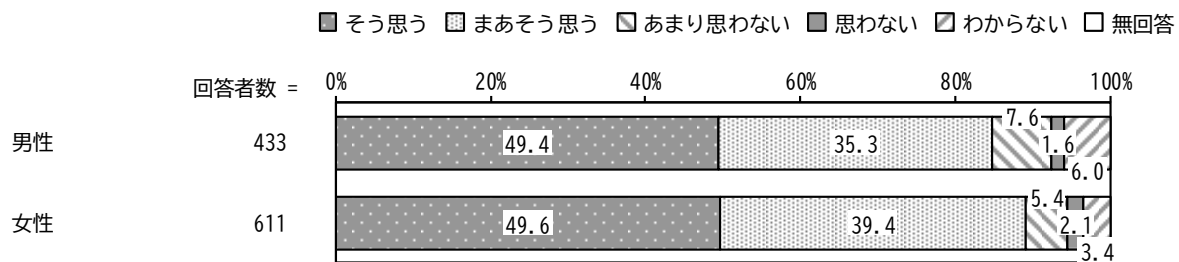
問7-2 周りの人の関わり方で、症状の進行を遅らせることもあれば悪化させることもある。

「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“思う”の割合が87.2%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合が8.2%となっています。



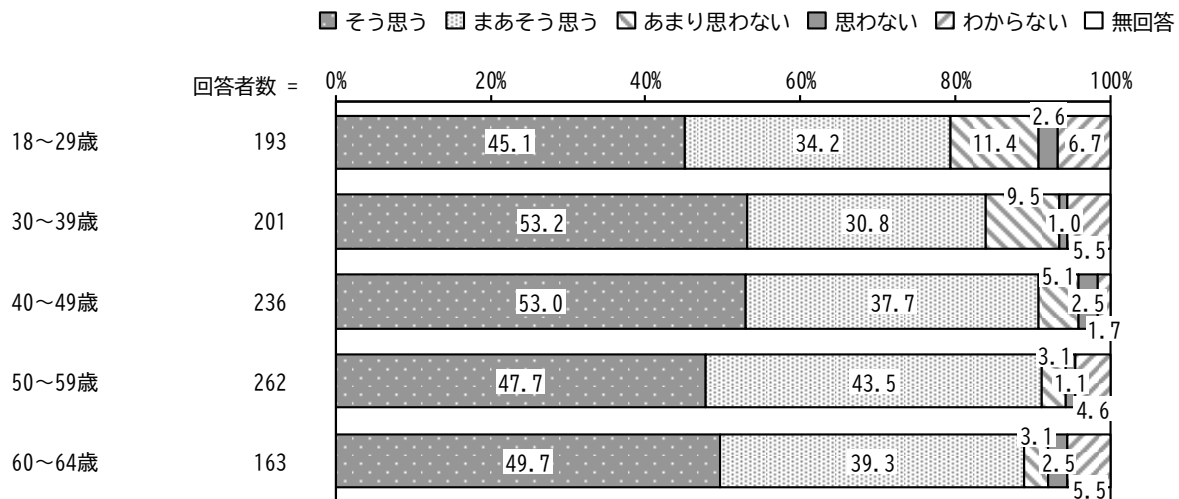
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



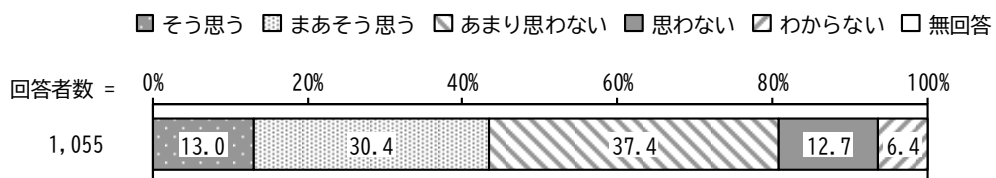
【年齢別】

年齢別にみると、18～29 歳から 50～59 歳まで年齢が上がるほど“思う”の割合が高くなっています。



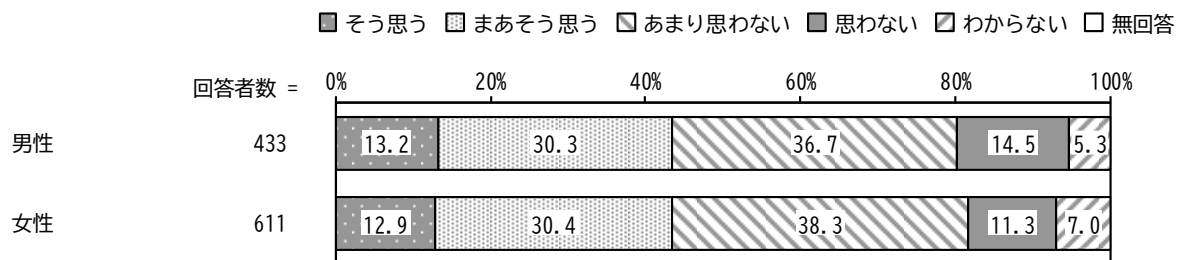
問7-3 認知症になっても工夫をすれば、今まで暮らしてきた地域で自立して生活できる。

「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“思う”の割合が 43.4%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合が 50.1%となっています。



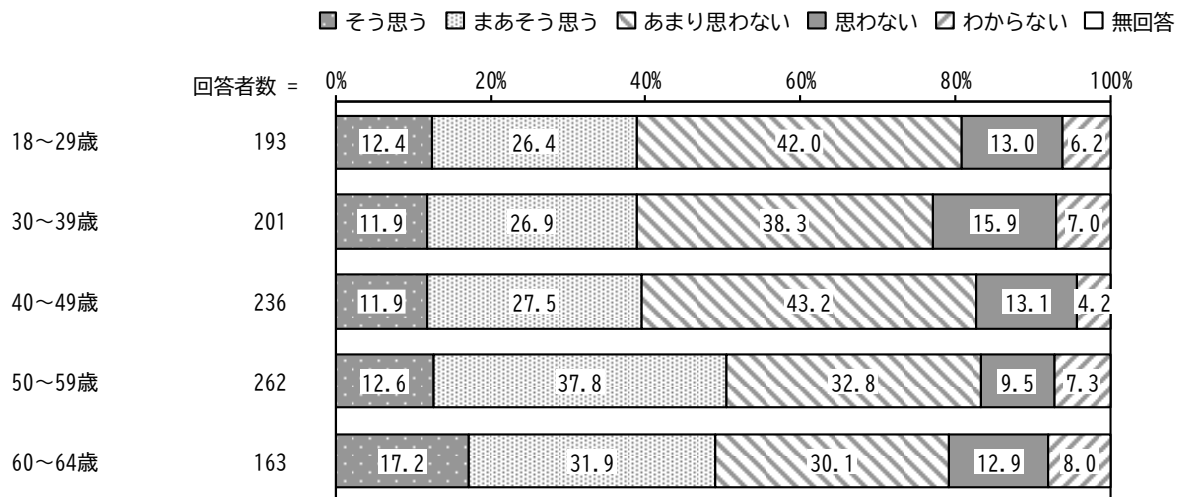
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



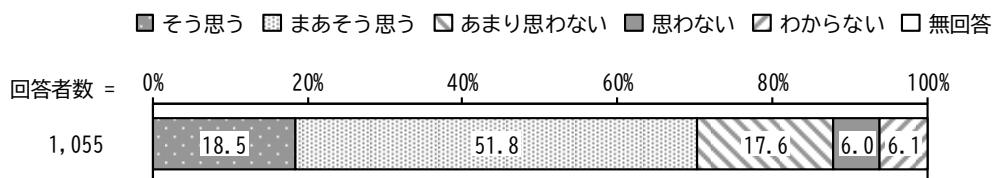
【年齢別】

年齢別にみると、50～59歳、60～64歳で“思う”、18～29歳から40～49歳で“思わない”の割合が高くなっています。



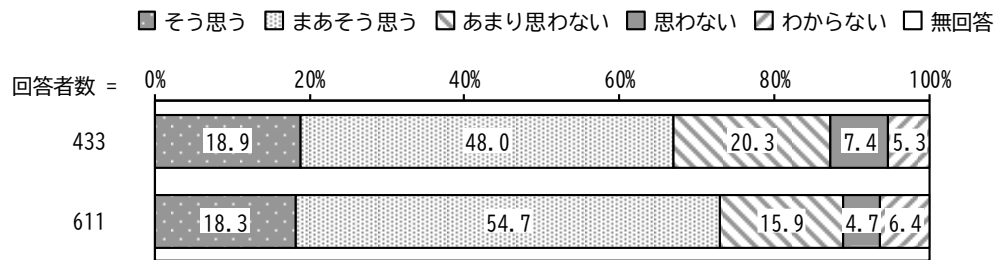
問7-4 認知症になっても、医療や介護などの支援を利用すれば、今まで暮らしてきた地域で生活できる。

「思う」「まあ思う」を合わせた“思う”の割合が70.3%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合が23.6%となっています。



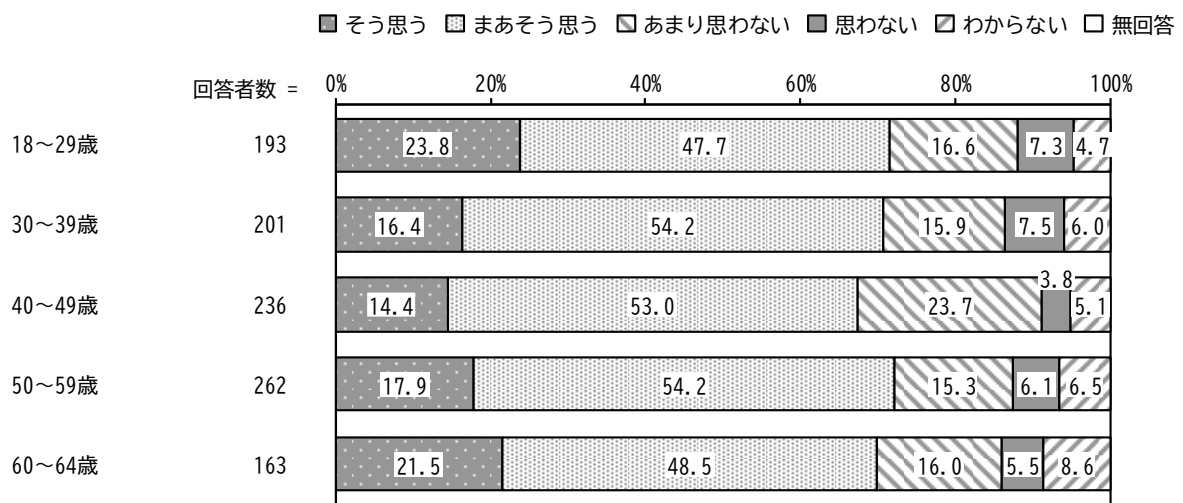
【性別】

性別にみると、男性で“思わない”の割合が高くなっています。



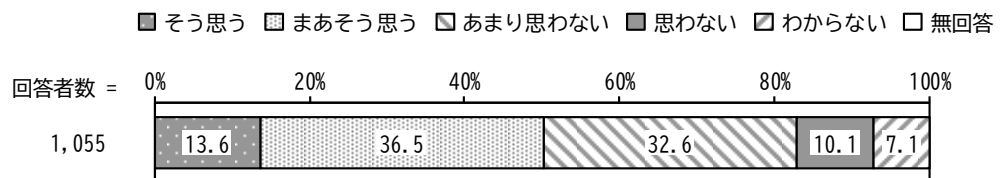
【年齢別】

年齢別にみると、40～49歳で「あまり思わない」の割合が高くなっています。



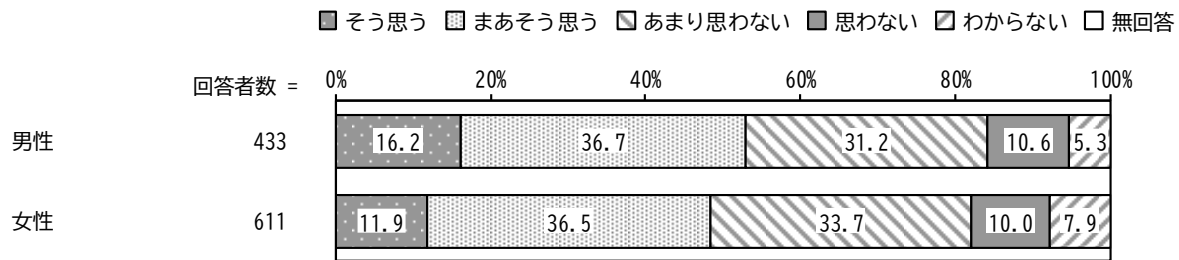
問7-5 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる。

「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“思う”の割合が50.1%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合が42.7%となっています。



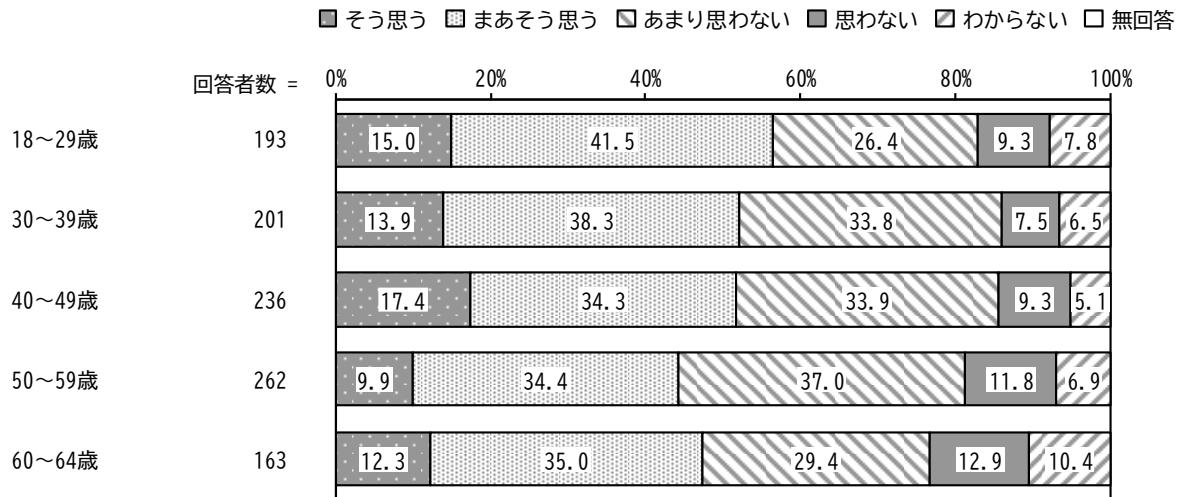
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



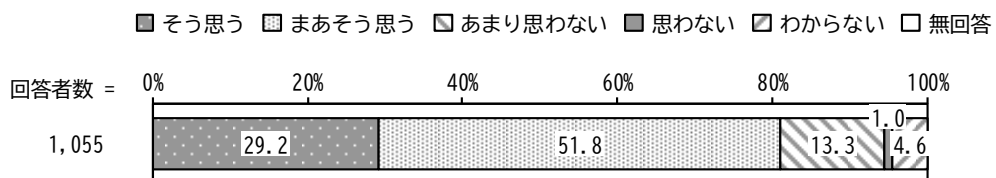
【年齢別】

年齢別にみると、18～29歳から50～59歳まで年齢が上がるほど“思わない”の割合が高くなっています。



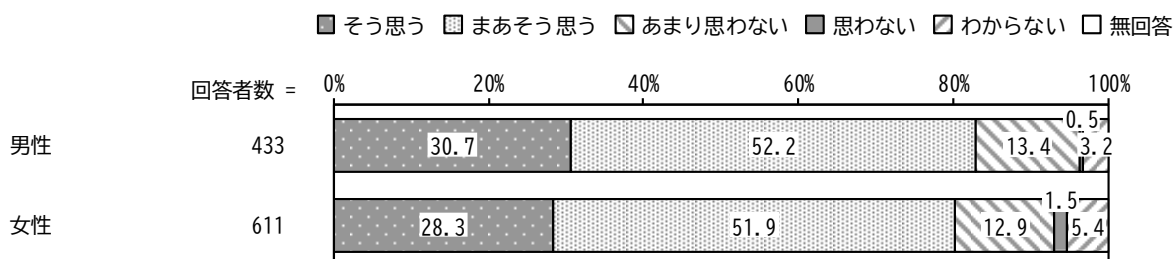
問7-6 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設等に入って支援を受けることが必要になる。

「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“思う”の割合が81.0%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合が14.3%となっています。



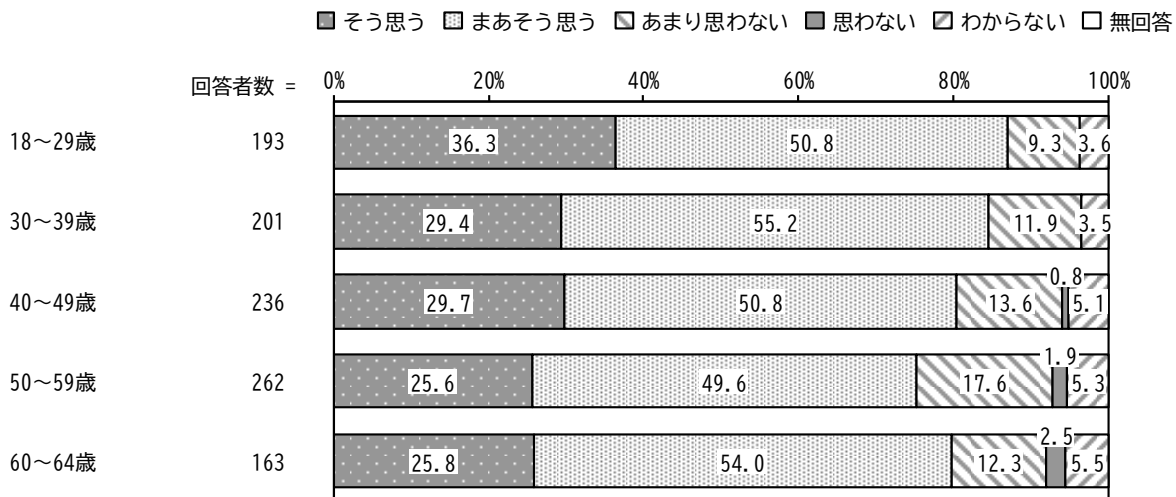
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



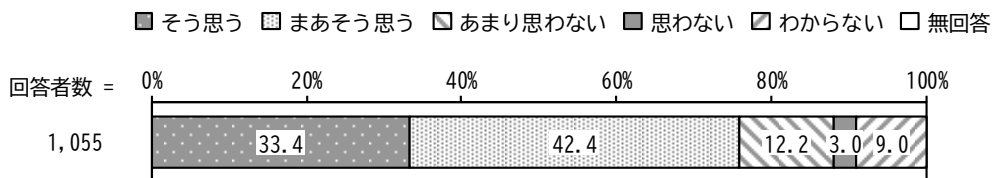
【年齢別】

年齢別にみると、18～29歳から50～59歳まで年齢が上がるほど“思わない”の割合が高くなっています。



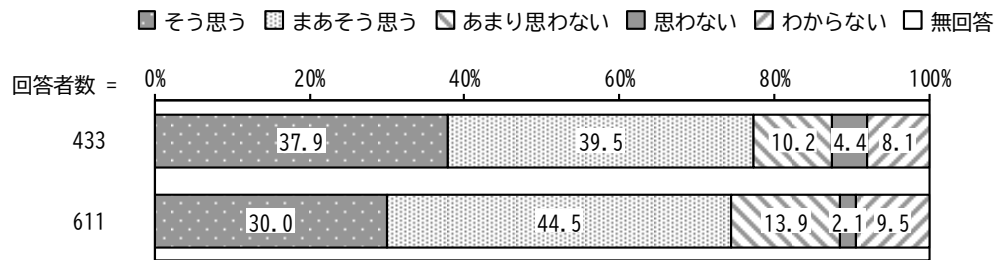
問7-7 認知症と診断されても、周囲の人に知られたくないと思っている人が多い。

「そう思う」「まあそう思う」を合わせた“思う”の割合が75.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合が15.2%となっています。



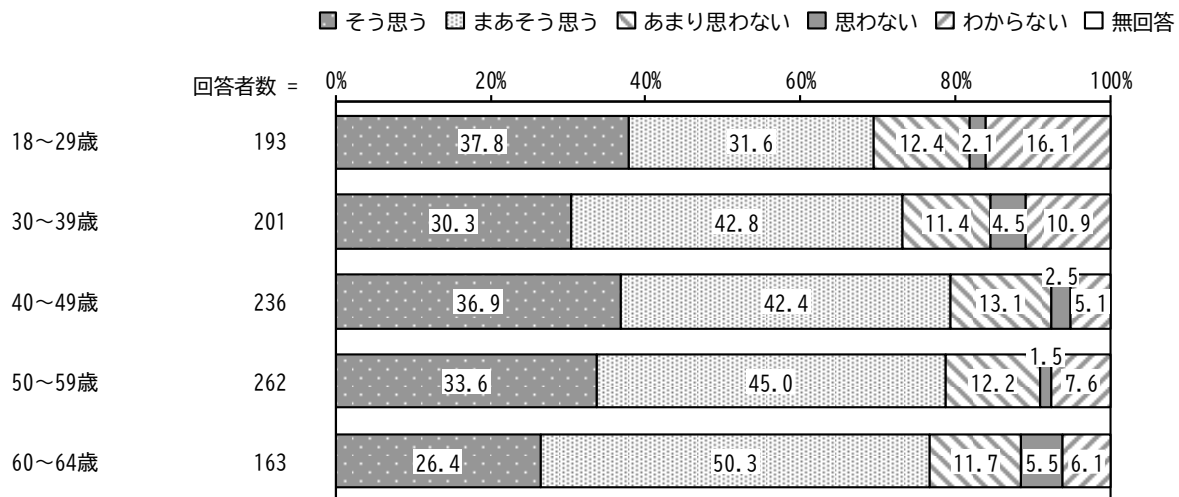
【性別】

性別にみると、男性で「そう思う」の割合が高く、女性で「まあそう思う」の割合が高くなっています。



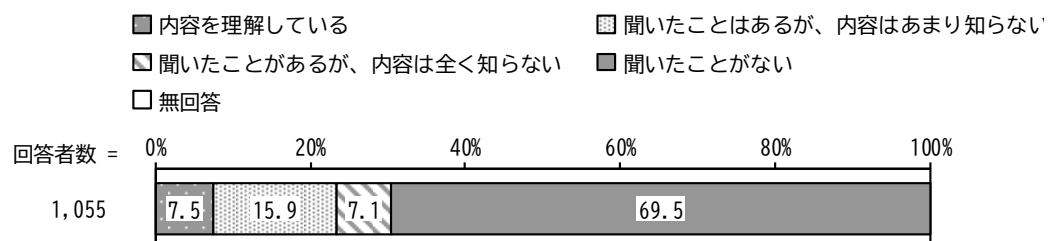
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「まあそう思う」の割合が高い傾向にあります。



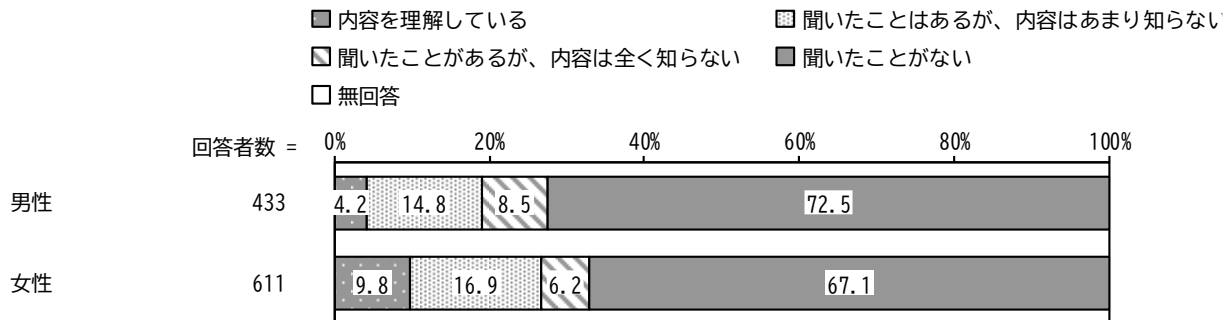
問8 あなたは「新しい認知症観」について知っていますか。

「聞いたことがない」の割合が 69.5%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容はあまり知らない」の割合が 15.9%となっています。



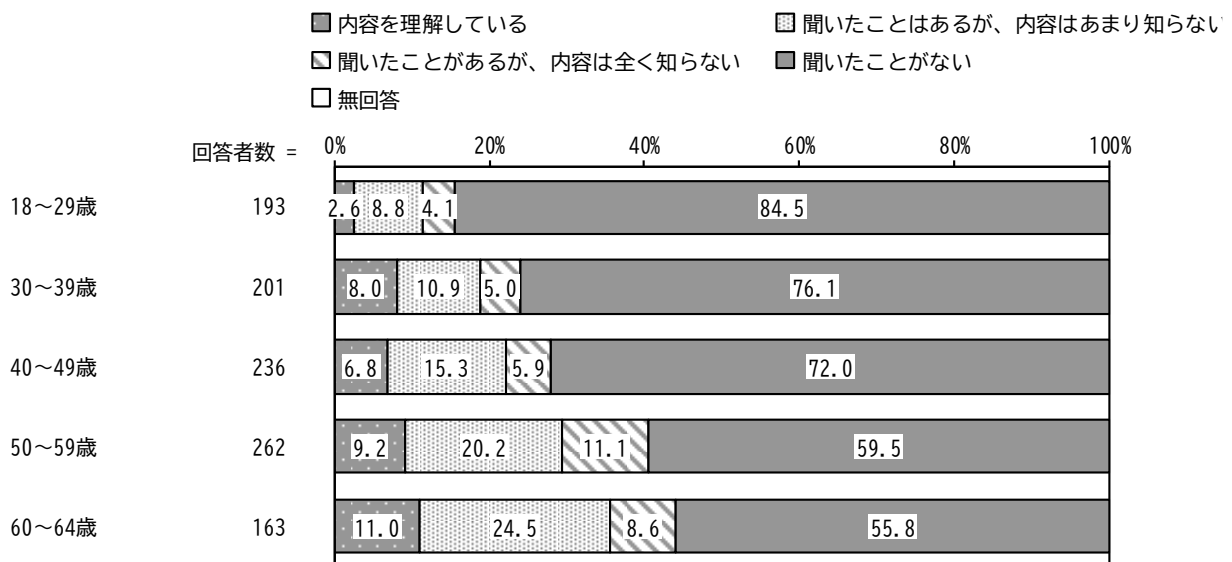
【性別】

性別にみると、男性で「聞いたことがない」の割合が高く、女性で「内容を理解している」の割合が高くなっています。



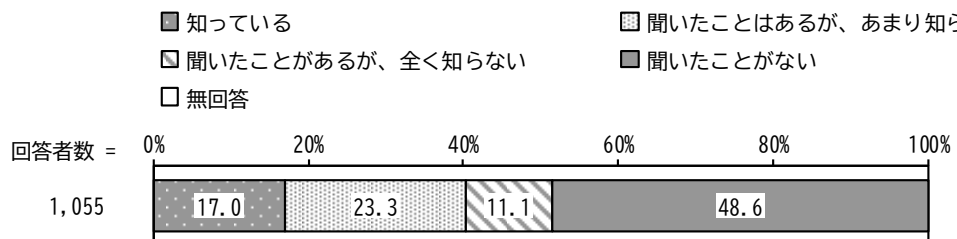
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「聞いたことがない」の割合が低くなっています。



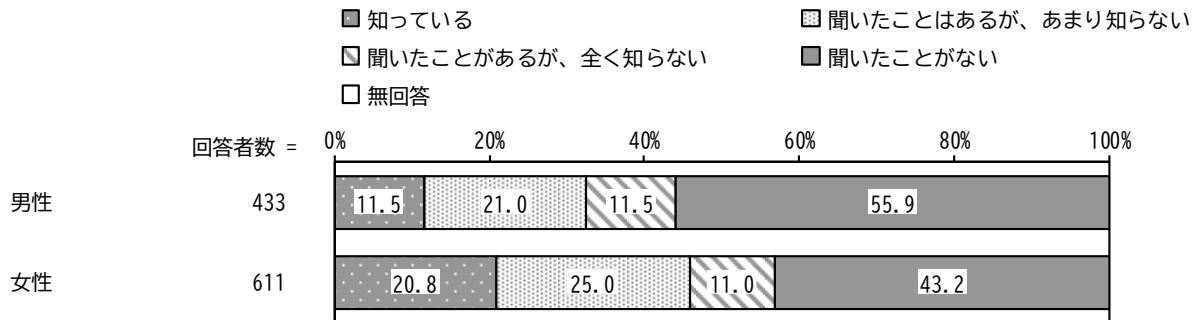
問9 あなたは「MCI：軽度認知障害」について知っていますか。

「聞いたことがない」の割合が48.6%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、あまり知らない」の割合が23.3%、「知っている」の割合が17.0%となっています。



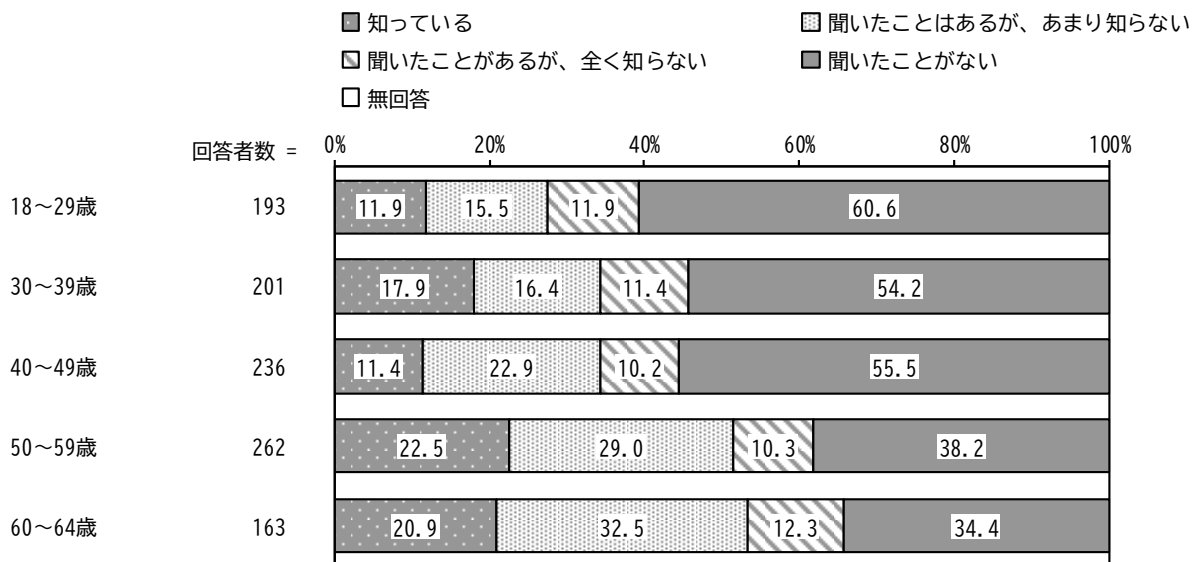
【性別】

性別にみると、男性で「聞いたことがない」の割合が高く、女性で「知っている」の割合が高くなっています。



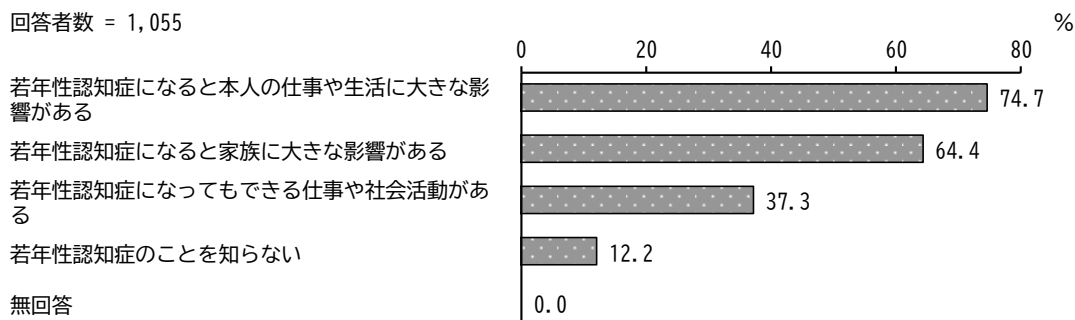
【年齢別】

年齢別にみると、年齢が上がるほど「聞いたことがない」の割合が低い傾向にあります。



問 10 「若年性認知症」について知っていることはどんなことですか。(複数回答可)

「若年性認知症になると本人の仕事や生活に大きな影響がある」の割合が 74.7%と最も高く、次いで「若年性認知症になると家族に大きな影響がある」の割合が 64.4%、「若年性認知症になってもできる仕事や社会活動がある」の割合が 37.3%となっています。



【性別】

性別にみると、男性、女性とも「若年性認知症になると本人の仕事や生活に大きな影響がある」、「若年性認知症になると家族に大きな影響がある」、「若年性認知症になってもできる仕事や社会活動がある」の順に高く、「若年性認知症のことを知らない」と回答したのは男性の方が割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	若年性認知症になると本人の仕事や生活に大きな影響がある	若年性認知症になると家族に大きな影響がある	若年性認知症になってもできる仕事や社会活動がある	若年性認知症のことを知らない	無回答
全体	1,055	74.7	64.4	37.3	12.2	0.0
男性	433	65.6	56.6	28.6	18.0	0.0
女性	611	81.7	70.2	43.5	7.5	0.0

【年齢別】

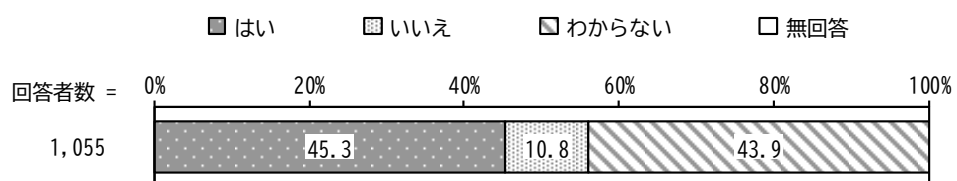
年齢別にみると、年齢が上がるほど「若年性認知症になると本人の仕事や生活に大きな影響がある」の割合が高く、18～29歳から50～59歳まで年齢が上がるほど「若年性認知症になってもできる仕事や社会活動がある」の割合が高く、「若年性認知症のことを知らない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	若年性認知症になると本人の仕事や生活に大きな影響がある	若年性認知症になると家族に大きな影響がある	若年性認知症になってもできる仕事や社会活動がある	若年性認知症のことを知らない	無回答
全体	1,055	74.7	64.4	37.3	12.2	0.0
18～29歳	193	60.6	43.5	25.4	24.4	0.0
30～39歳	201	71.6	66.7	30.8	16.9	0.0
40～49歳	236	78.8	69.5	36.9	10.6	0.0
50～59歳	262	80.2	67.9	46.9	5.0	0.0
60～64歳	163	80.4	73.0	44.8	6.1	0.0

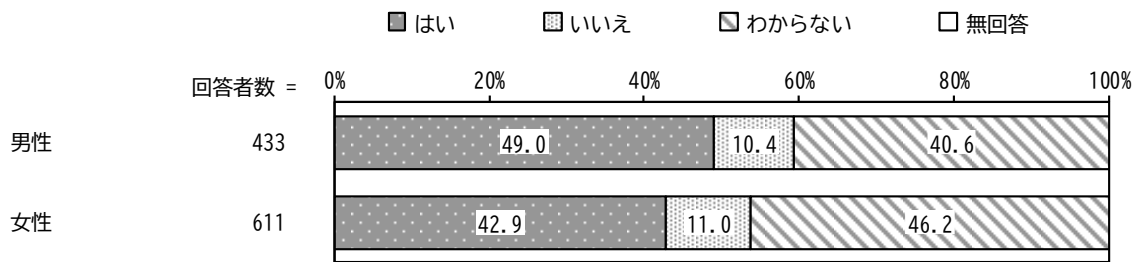
問 11 あなたは認知症になった場合、認知症であることを周囲に伝えたいと思いますか。

「はい」の割合が45.3%、「いいえ」の割合が10.8%となっています。



【性別】

性別にみると、男性で「はい」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、大きな差はみられません。

